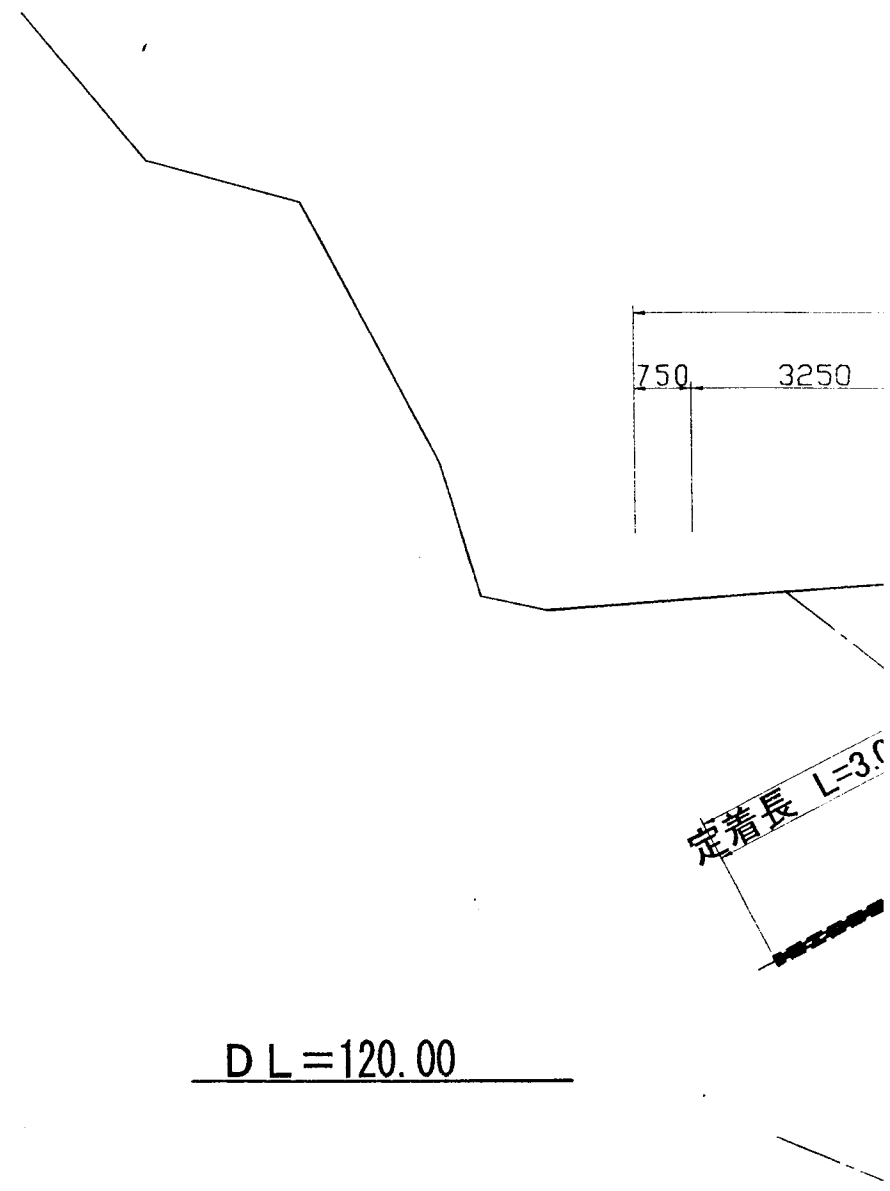
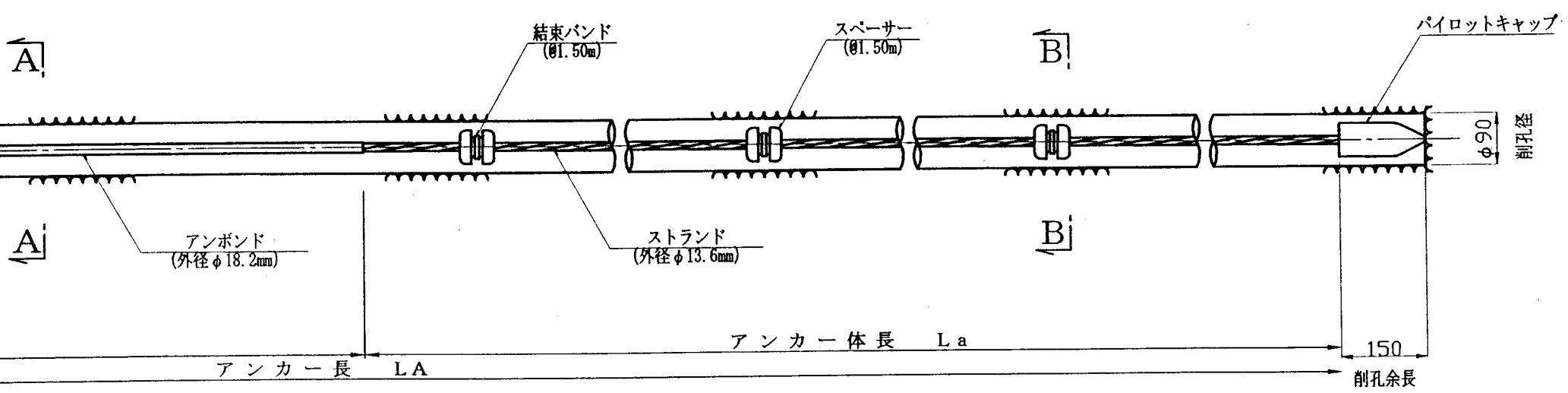


アンカー工構造図 (1) S = 1 : 10

(φ12.7mmストランド1本使用)

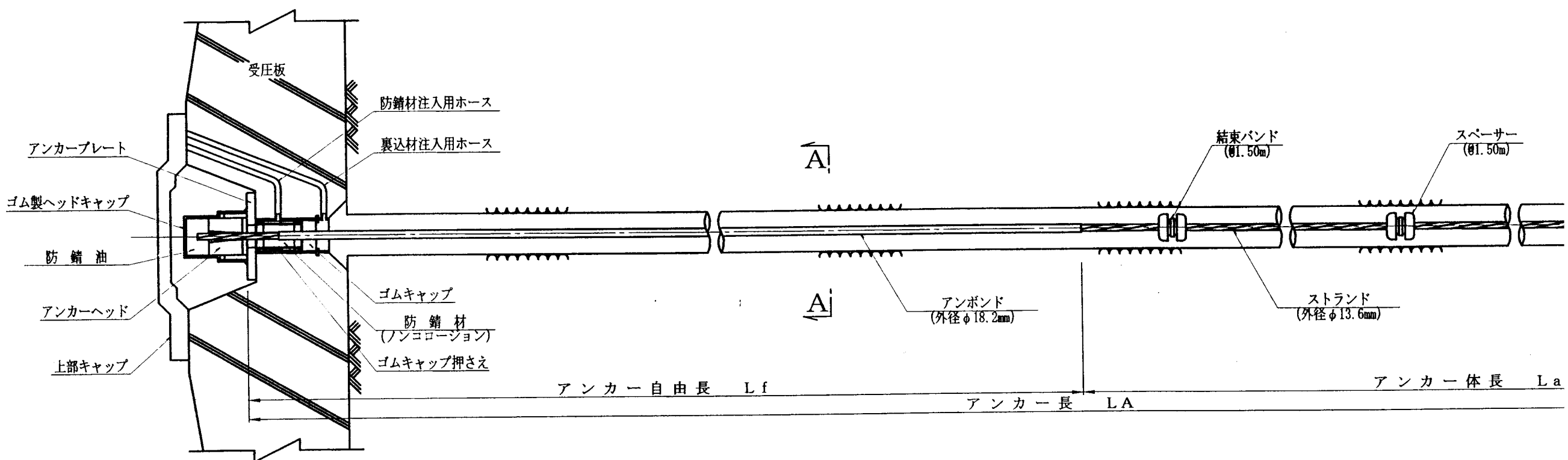


ゴム製ヘッドキャップ S=1:3

アンカーヘッド S=1:3

アンカープレート S=

アンカー (φ12.7mmス)



断面図 S=1:2

ゴム製ヘッドキャップ S=1:3

A - A

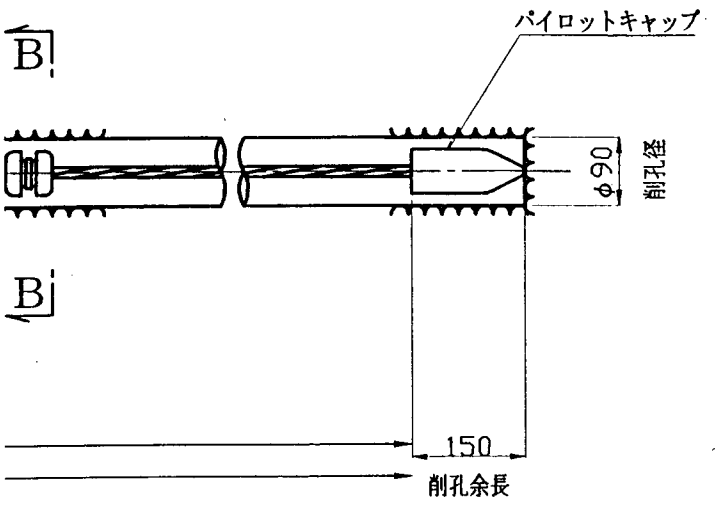
B - B

構造図 (1)

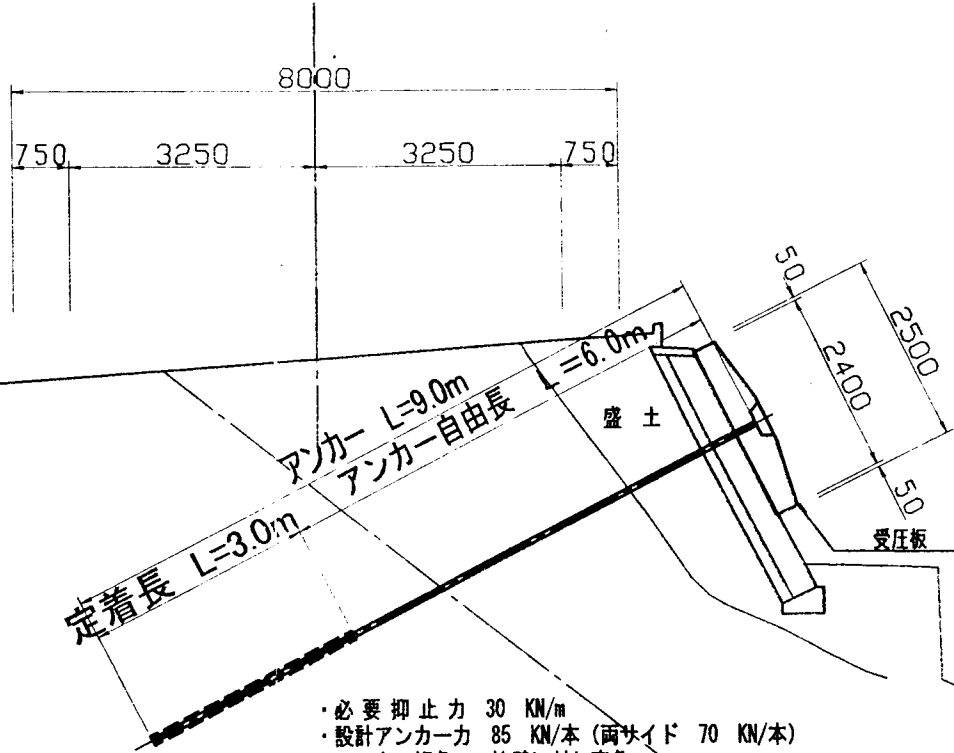
S = 1 : 10

NO. 1+9.80

ランド1本使用)



DL = 120.00



- ・必要抑止力 30 KN/m
- ・設計アンカー力 85 KN/本 (両サイド 70 KN/本)
- ・アンカー傾角 擁壁に対し直角
- ・テンドン規格 $\phi 12.7$ mmストランド1本使用
- ・削孔径 $\phi 90$ mm
- ・テンドンとグラウトの許容付着応力度 $\tau_b = 0.80 \text{ N/mm}^2$
- ・アンカー体の周面摩擦抵抗 (風化岩相当) $\tau = 0.80 \text{ N/mm}^2$
- ・アンカー体長 $L_a = 3.0\text{m}$

(注1)
アンカー体長は計算上3.0mとなるが、地層推定線の誤差を考慮して1m程度付加させている。現場削孔時に風化岩が想定位置とずれる場合は、
・アンカー自由長 最小長4.0m以上
・アンカー体長 3.0m以上
の条件を遵守した上で、現場変更を随時行うこと。

(注2)
(注1)は設計条件である。現場で行う品質保証試験の結果を基に必要なアンカー体長を確保すること。

(注3)
両サイドのアンカー材の設計アンカー力と受圧板サイズが異なる。

崖壁堆積物 (礫混じり砂)

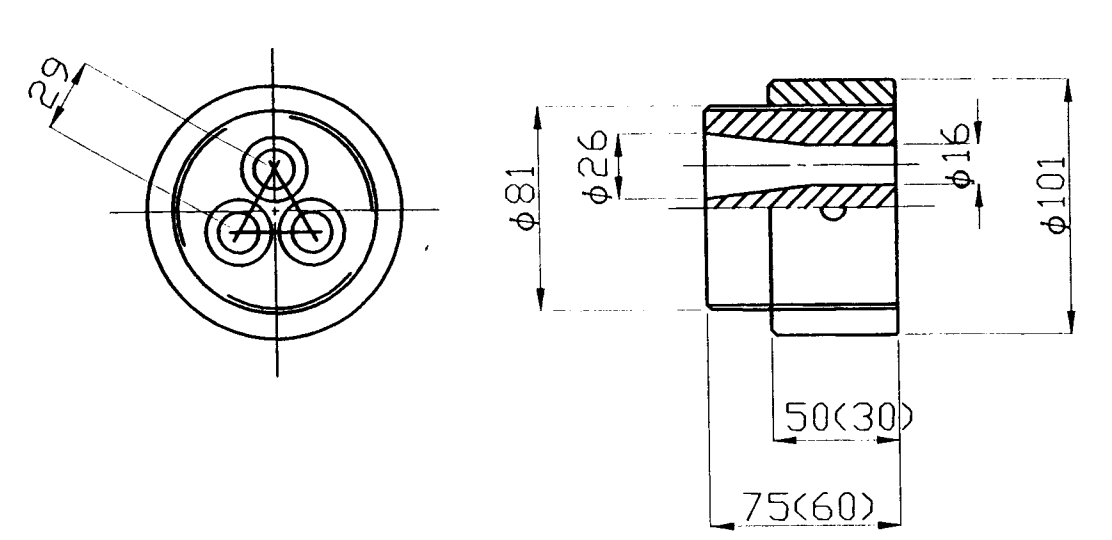
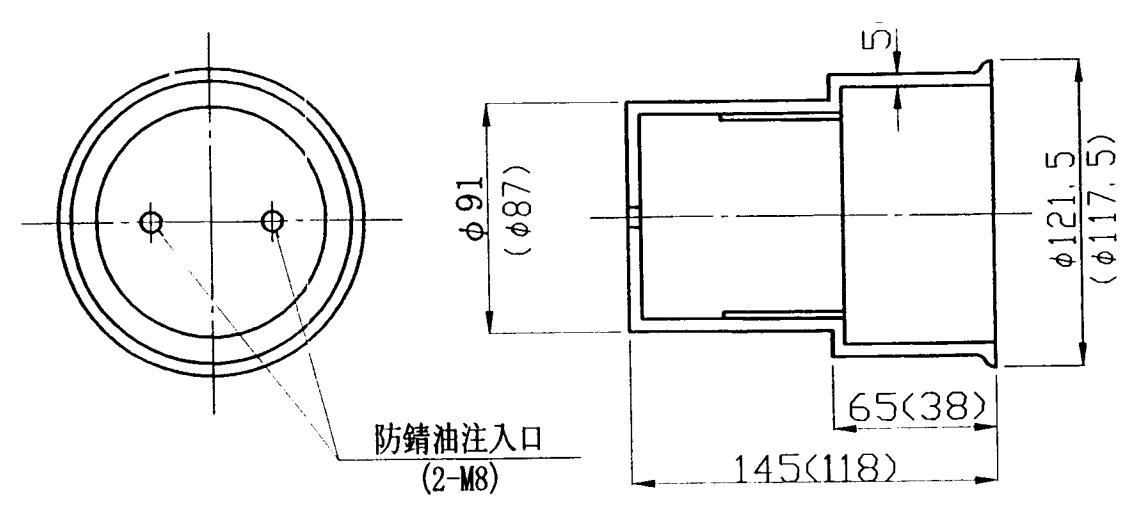
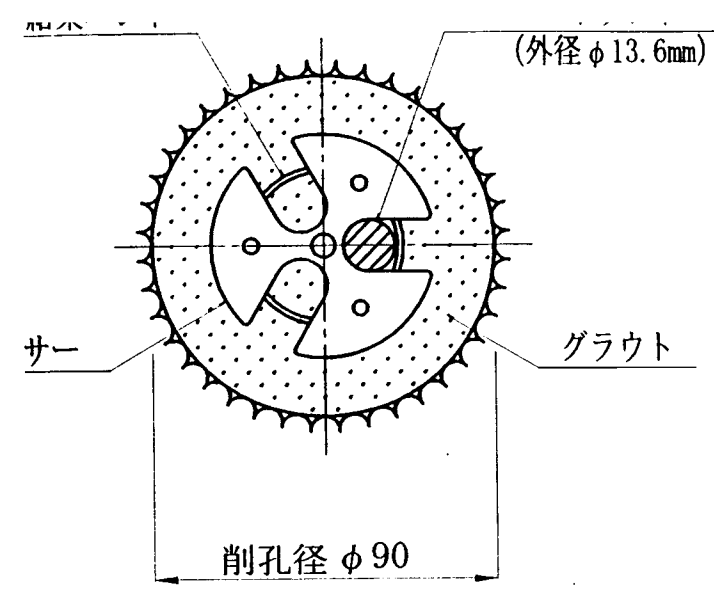
砂岩 (風化岩)

砂岩 (軟岩I)

アンカーヘッド S=1:3

アンカープレート S=1:3

ゴムキャップ S=1:3

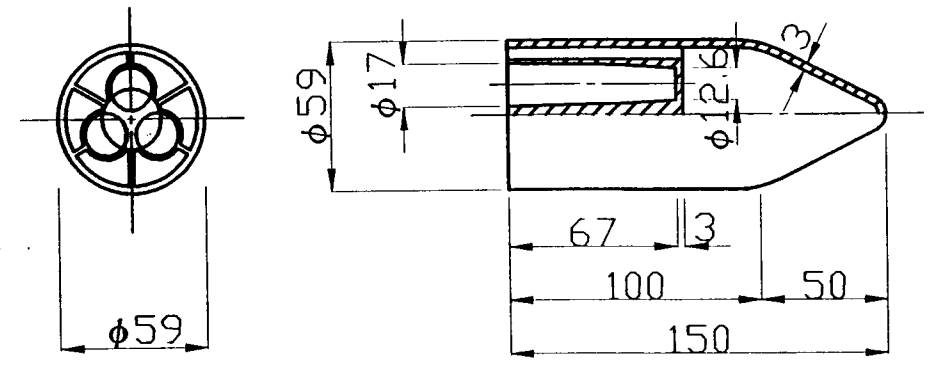
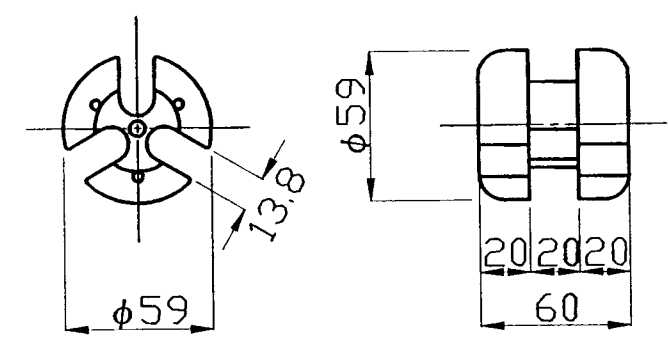
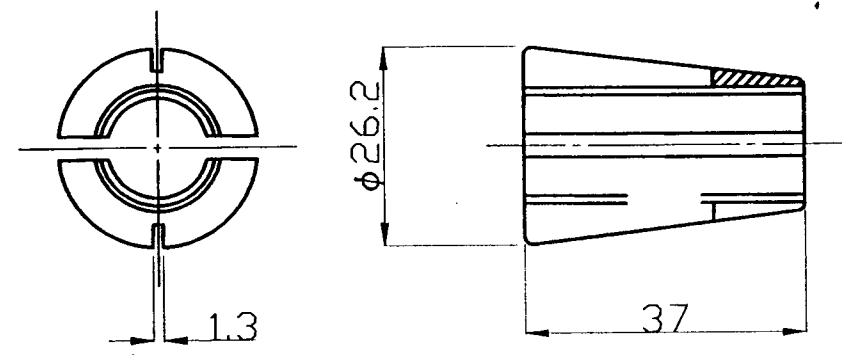


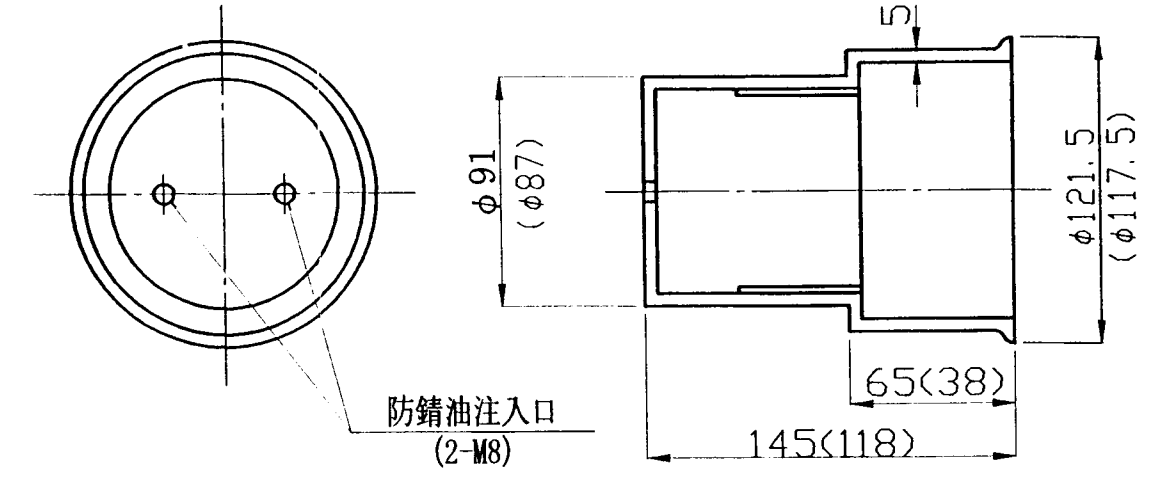
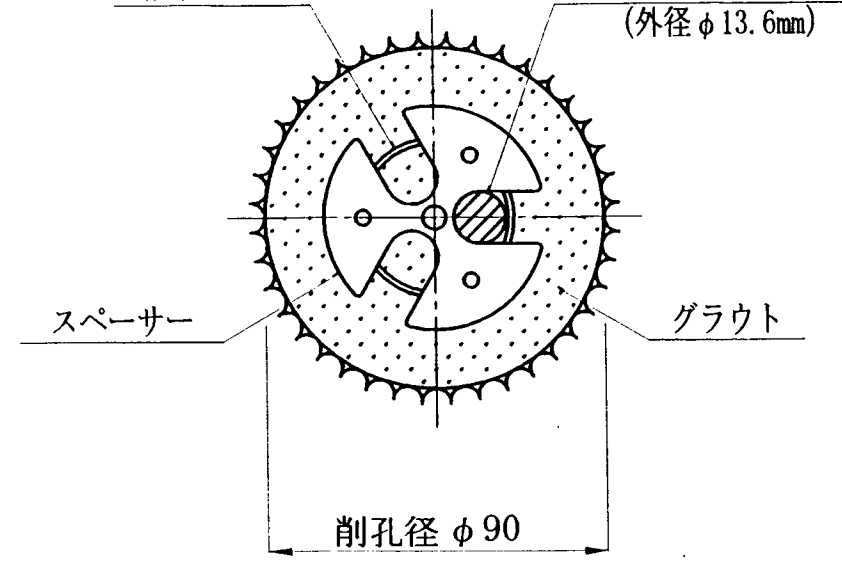
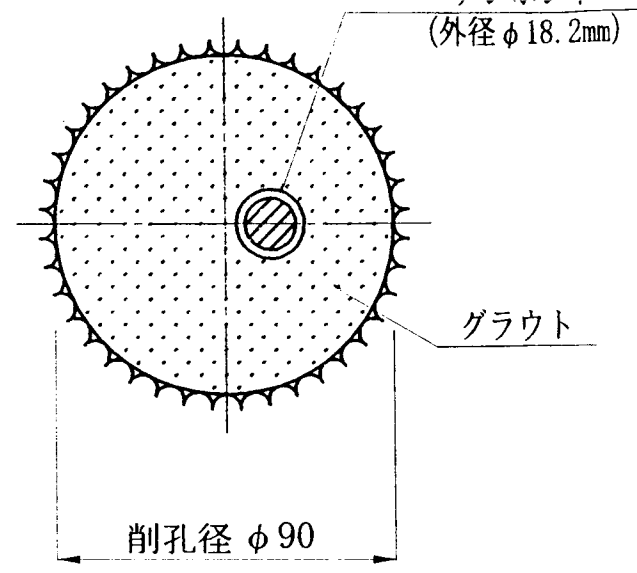
注) () 外寸法はLLタイプ、() 内寸法はLタイプを示す。

クサビ S=1:1
(12.7mm用)

スペーサー S=1:3

パイロットキャップ S=1:3



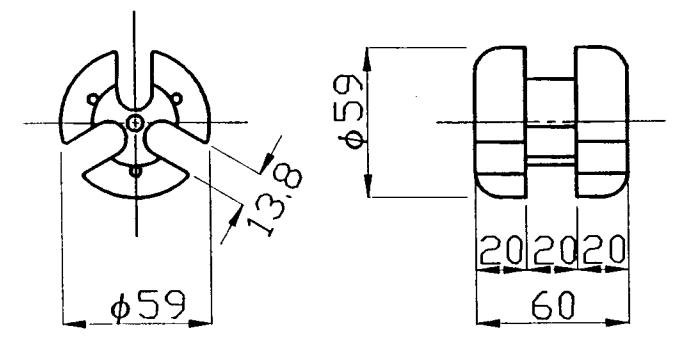
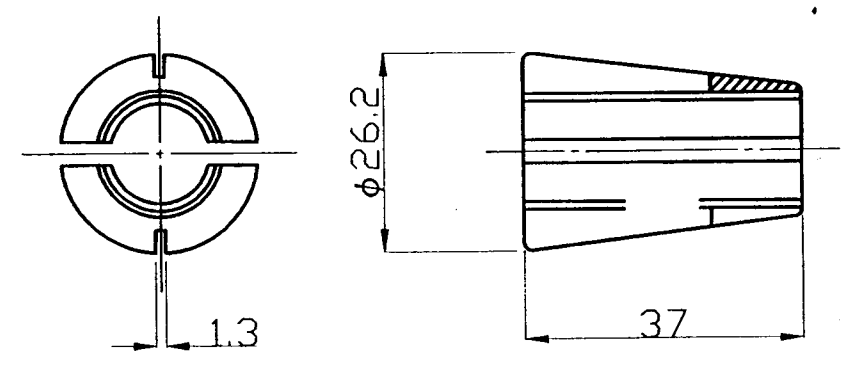
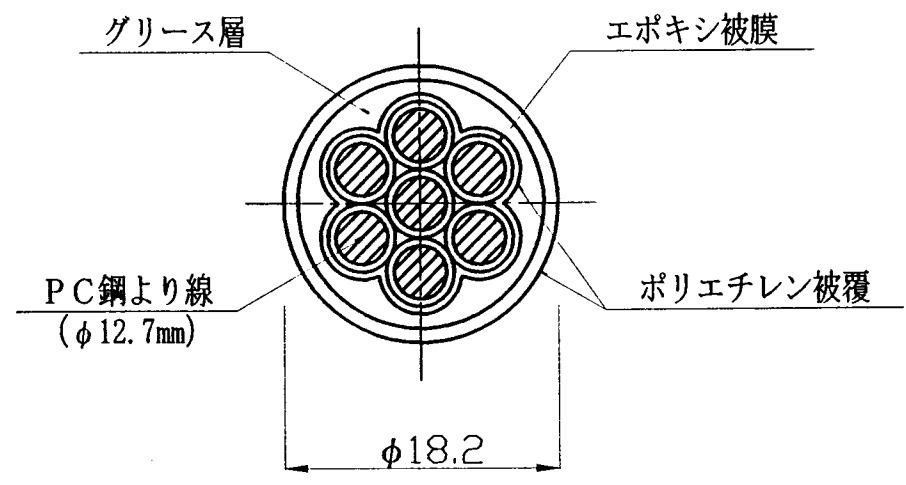


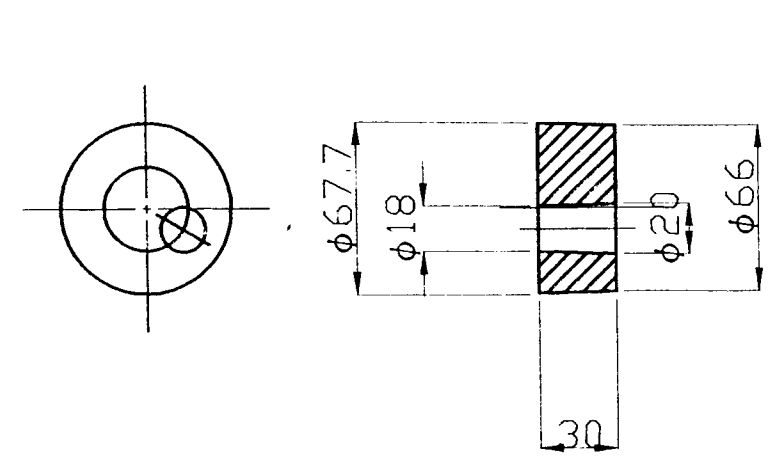
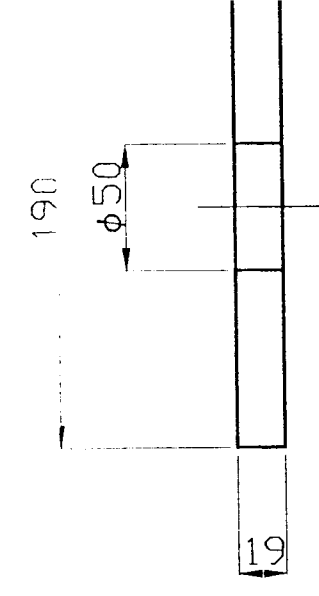
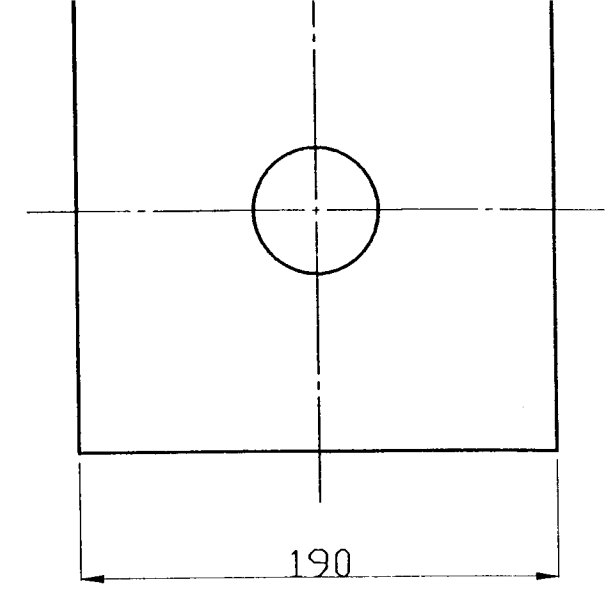
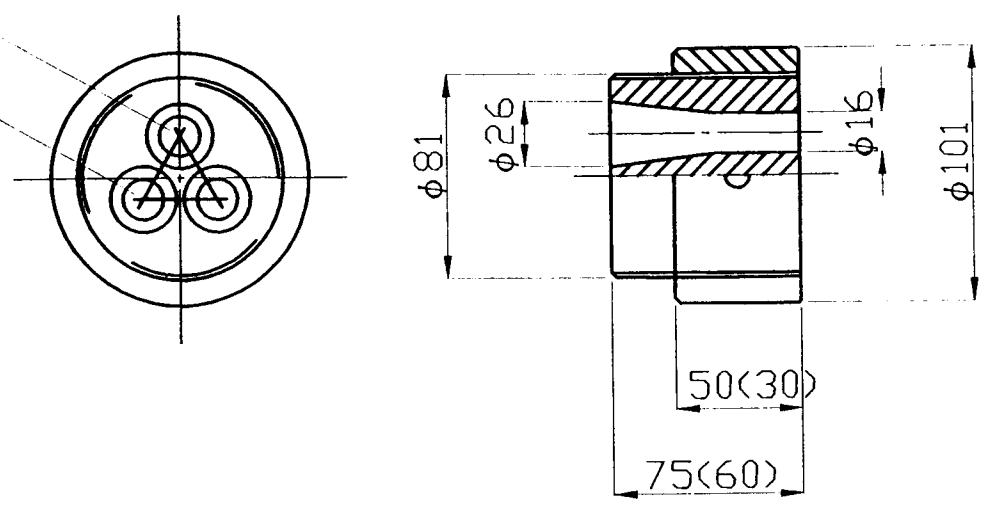
注) () 外寸法

アンボンド S=2:1

クサビ S=1:1
(12.7mm用)

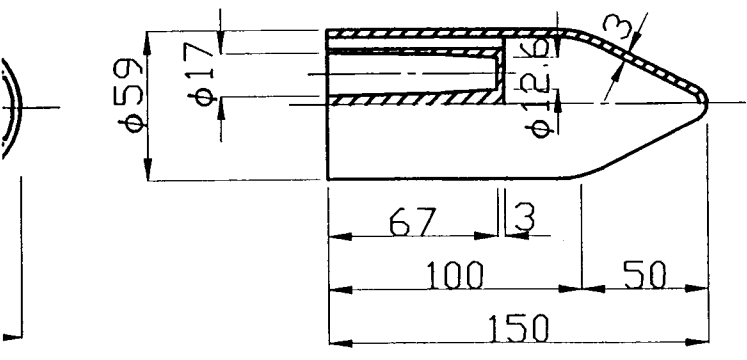
スペーサー S=1:3



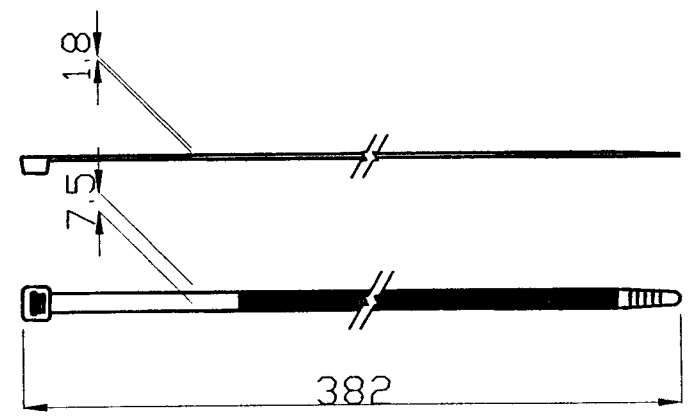


イブ、() 内寸法はLタイプを示す。

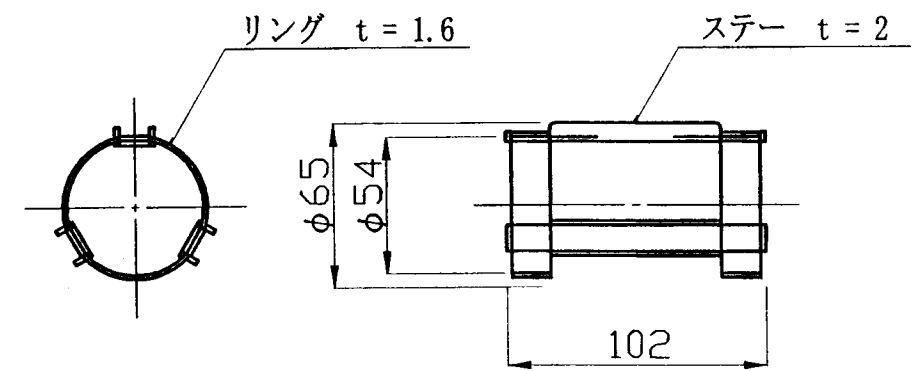
パイロットキャップ S=1:3



結束バンド S=1:3



ゴムキャップ押さえ S=1:3



参考資料

工事名	42号河瀬(鹿ヶ瀬)地区擁壁補強工事		
図面名	アンカー工構造図(1)		
縮尺	図示	図面番号	4葉之内 2
設計年月	平成16年 1月		
近畿地方整備局		X	
和歌山河川国道事務所			

受託者名	株式会社 東京建設コンサルタント		
作製年月	平成14年 10月	番号	17葉之内 12